

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（41）」

2. 日時：令和2年8月19日（水）10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、磯田係員

北陸電力株式会社：小田執行役員 他6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 評価対象断層の選定（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集1（ボーリング柱状図）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集2（ボーリングコア写真）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集3（BHTV）
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【地質関係】

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	直接のタニですがございます。
0:00:11	当志賀原子力発電所 2 号炉敷地の地質構造についてということでヒアリング 5 回と思います。
0:00:21	まず資料の確認からお願いしているんですか。
0:00:25	はい。資料のほうですけども、北陸電力フジタです。説明の本資料が 1 冊。
0:00:32	それからの補足資料が 1 冊。
0:00:36	それとデータ集としまして、ボーリングデータを 3 冊用意してございます。よろしいでしょうか。
0:00:45	はい、確認してます。
0:00:47	それでは資料の説明のほう、お願いいたします。
0:00:53	北陸電力の小田でございますが、改めましておはようございます。よろしくお願いいたします。本日敷地内断層の評価対象断層の選定につきまして、前々回、3 月の審査会合におきまして、
0:01:10	特に海岸部の断層についてコメントいただいております。本日はそのコメントに対する回答、一番の運動方向のデータ等の拡充も行っておりまして、再整理しておりますので、開発の断層の選定につきまして、コメント回答のほうの資料を説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。
0:01:31	北陸電力フジタでそれでは議会の方ほう説明したいと思います。
0:01:35	本資料の 3 ページをお願いいたします。
0:01:40	こちらの表の黄色の部分ですね今オオタが説明した通り、選定について御説明したいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:01:48	4 ページ目をお願いいたします。
0:01:51	こちら未回答のコメントの一覧です。この網かけした選定に関する部分を御説明したいと思います。
0:01:59	で、その内容 5 ページに回答概要記載してございます。
0:02:04	こちらにつきましては各ページで詳細を御説明したいと思いますので、ここでは説明を割愛させていただきます。
0:02:10	6 ページ。
0:02:12	お願いいたします。
0:02:14	よろしいでしょうか。
0:02:16	今回再評価しました海岸部の断層分布を平面図、それから断面図で示してございます。

0:02:23	3月の会合では平地から計21までの20本の断層を抽出しておりましたけども、今回、計22棟計23を新たに加え、23本の断層が分布すると、再評価しています。
0:02:39	なお前回から変更した箇所は、今回、紫色で表示して説明していきたいと思っています。
0:02:45	その内容を7ページ以降、御説明したいと思います。7ページ目をお願いいたします。
0:02:51	こちらは前回お示した断面図に今回、
0:02:55	変更した部分を記載したものです。変更点を四角枠で紫色で記載しておりますので、順に御説明したいと思います。
0:03:04	このページの上に、まず一つ目の四角の枠がございますが、そのうち2から二つ目に記載の経緯の分岐部としていたものにつきましては併任の支部といかなる行動考慮しまして、個別の断層系に12として抽出いたしました。
0:03:21	なおこの計20には経営に同様、取水の責務に分布する三条対象断層と評価しております。
0:03:29	続きまして、上の五つの四角枠の真ん中、計16の分岐につきましても同様に取水の席に分布する個別の三条対象断層として計23として抽出してございます。
0:03:44	渡辺明確にこの下の紫色の四角枠で示しますK-1718、20、21のほうにつきましては、前回主水路に分布しない断層と評価しておりましたけども、ボーリング調査域が取水が1から比較していることによる不確かさを考慮いたしまして、
0:04:02	白関根に分布する三条断層として搬送プッシュといたしました。
0:04:07	これに伴いまして、上の左から二つ目の四角枠に記載しておりますが、破碎部にこれは質疑の設置に分布するとして計20の延長上の近傍に位置しておりますので、走向傾斜が類似しておりますので、20の一部と評価いたしました。
0:04:25	同様の考えで上の四角のはさ104ですね、一番左側の地殻枠104につきましても走向傾斜が類似するK21の一部と考えております。
0:04:39	さらに上の四角枠の一番右側、破碎部1につきましては、今回追加ボーリングを行いまして、平面的にも、取水のまで連続しない連続性に乏しい破碎部であることが改めて確認できましたので、前回同様、断層として抽出を行っておりません。
0:04:57	以上が海岸部の断層群についての主な変更点となります。
0:05:03	よろしいでしょうか。次に8ページをお願いいたします。
0:05:08	評価対象断層の選定フローと結果の概要です。選定の考え方フローは変更ございません。

0:05:15	上の四角に結論を記載しておりますが、計 2223 を追加して 18 から 23 については、新たに運動方向のデータを取得し選定を行いました、この結果、海岸部においては、これまで選定していた。
0:05:32	2 計算揭示用に計 18 を加え、
0:05:35	合計 4 本を選定することになってございます。
0:05:39	9 ページをご覧ください。
0:05:43	2 ページは新たに取得した運動方向のデータを加えた系統区分の結果を示しております。
0:05:49	前回からの変更点としましては、まず傾斜高校、この表で青色に着色した部分をこちらを追加しております。
0:05:58	皆スペース西傾斜で断層の分布の特徴が異なることから傾斜方向を新たに系統区分の項目に加えてございます。
0:06:06	当局の詳細につきましては本文の中で御説明したいと思います。
0:06:11	それでは、10 ページ目をお願いいたします。
0:06:14	前回からの変更点をまとめたページでタニ前回のフロー、右に今回のフローを示しています。
0:06:22	中央に記載しております緑の枠、
0:06:26	この四角枠が変更点を示しておりますのでこちらを御説明したいと思います。
0:06:33	まず、うん。
0:06:36	一つ目ですね、計 2223-2 本の断層を抽出しましたので、敷地内断層が 33 本、これを対象に検討を行うということになってございます。
0:06:48	続きまして二つ目の緑枠 4 項目のデータに基づく系統区分ですけれども、
0:06:53	弊社方向を考慮した結果に客系が二つに細区分されてまして、前回御系統であったものが今回 6 系統に細区分されております。
0:07:04	続きまして三つ目の緑枠、
0:07:06	今回、計 18 から計 23 の六法の断層について運動の補方向のデータを新たに取得したことで、系統区分される断層が増えてございます。
0:07:19	四つ目の緑枠系統区分の結果、平成 18 は 2 左客系の中で破碎幅の平均値が最も大きいことから、新たに評価対象断層として選定してございます。
0:07:33	以上の再検討の結果、フローの下に記載の通り、低シリーズでは、これまで選定していた 3 本にて 18 を加え合計 4 本を選定しました。
0:07:44	なお陸域の S シリーズは六法の選定結果に変更はございませんので、敷地内断層の敷地内の評価対象断層は 9 本から順子となっております。
0:07:58	以上が概要になります。11 ページ目、目次
0:08:03	お願いいたします。

0:08:05	薄いグレーで記載した箇所はこれまでに御説明した内容で今回資料の添付を省略させていただいております。以上 4 社の中におきましても、別シリーズの結果に変更はございませんので、資料を一部割愛させてもらっています。
0:08:19	以上が概要の説明となります。12 ページ以降は担当の下のほうから御説明いたしますのでよろしくお願いします。
0:08:30	をクリック電力のイシダです。
0:08:31	それでは 12 ページから資料の内容について、前回の選定の審査会合からの変更点を中心に御説明いたします。
0:08:39	まず、2 章の敷地内断層の分布性状、運動方向となります。
0:08:44	まず、14 ページをお願いいたします。
0:08:47	4 ページは、調査行ってるなっております、今回浅い位置の連続性確認のためのボーリングを 1 本追加しております。
0:08:57	続いての 15 ページから 18 ページにつきましては変更ございません。
0:09:03	19 ページをお願いいたします。
0:09:06	こちらから断層の分布について御説明いたします。
0:09:10	21 ページをお願いいたします。
0:09:14	21 ページは敷地内断層の抽出結果の概要となります。
0:09:19	冒頭ご説明した通り、今回新たに K-22 件の 23 を抽出しております。
0:09:25	詳細は後程御説明いたします。
0:09:29	22 ページには、抽出した津波断層の面的な分布を示しております。
0:09:35	今回新たに抽出した断層や分布を修正した断層は紫色で記載してございます。
0:09:43	次に、23 ページをお願いいたします。
0:09:47	23 ページは、海岸部でこれまで実施してきた調査の概要となります。
0:09:54	次のページ以降にそれぞれの調査結果をまとめていますが、24 ページから 28 ページにつきましては、前回から内容に変更はございません。
0:10:06	29 ページ、30 ページをお願いいたします。
0:10:11	こちらは取水を沿いの調査結果となりまして、コメント No.93 と 94 の回答となります。
0:10:20	30 ページの断面図を見ていただきますと、
0:10:24	前回の会合との変更点を下に紫色で記載してございます。
0:10:31	冒頭の説明と重複する部分がございますが、変更のポイントを御説明いたします。
0:10:36	まず、K2、

0:10:38	計 16 と分岐収斂する関係にある断層は、それぞれの断層の分岐部として評価していましたが、離隔があることを踏まえまして、個別の断層としてK-22 件の 23 として抽出しました。
0:10:53	さらにK-17、K-18J-20K-21 については調査位置が取水量 1 から離隔していることによる不確かさを考慮し、除染費の設置が決めに分布する断層と評価を見直しました。
0:11:09	また、これによりK-20K-21 の延長線上に位置していた破砕部に赤い弁をそれぞれK-20K-21 の一部としました。
0:11:22	さらにK-12、K-13 につきましては後程説明する細部位置の連続性検討ボーリングで主水路付近に対応する破砕部を確認したため、平面分布を見直しております。
0:11:37	以上 3 点が振っ前回の審査会合からの大きな変更点となります。
0:11:43	31 ページには各断層の破砕部性状一覧表を整理してございます。
0:11:50	これまで 2k16 の分岐として評価していた破砕部を低の 22、A-23 として整理し直しています。
0:12:00	さらに、これまで破砕部に破砕部 4 としていた破砕をJ-20K-21 として整理し、
0:12:08	A-12 件の 13 については、追加ボーリングで確認した破砕を追加してございます。
0:12:15	また、A-19 の表中のH-0.2-75 孔で認められた破砕部の走向傾斜について、
0:12:24	除染断面位置の走向傾斜に今回修正してございます。
0:12:29	これらの断層については平均走向傾斜や細部の平均幅を算出し直して上に反映してございます。
0:12:40	32 ページの地質断面図は評価し直した断層線に修正した点以外は変更ございません。
0:12:48	次に、33 ページをお願いいたします。
0:12:53	こちらは給水ノズルの調査で確認された断層を各断層の走向をもとに、取水の位置に投影した断面図を示しており、
0:13:01	今回、K-19 以外の断層は、取水の設置に分布する断層であると評価し直してございます。
0:13:10	34 ページ、35 ページは出席御説明に分布すると評価した断層と主水路スケッチとも内容を確認しています。
0:13:21	まず、34 ページの下の主水路スケッチを見ていただくと、今回新たに取水炉説明員分布すると評価した。

0:13:30	A-23。
0:13:31	は抑え別紙の1と対応しています。
0:13:36	A-18K-20については、想定延長位置の平板のみに割れ目が認められます。
0:13:44	また、35ページには起き冷却水取水のスケッチの対応を示しておりまして、
0:13:51	K-21に対応する割れ目は認められませんでした。
0:13:57	続いて36ページをお願いいたします。
0:14:01	こちらはグリッドボーリング調査等の対応の確認結果となります。
0:14:07	右3表に紫色で示す追加検討した断層につきましても、ピットボーリングで確認された破砕部に対応する可能性があることを確認してございます。
0:14:19	次に、37ページ、38ページをお願いいたします。
0:14:24	こちらでは抽出した断層以外の破砕部の連続性の確認を行っています。
0:14:32	このうち、隣接孔に連続し、実際炉心ライン分布する破砕部立地について、西縁付近の延長位置でボーリング調査を行い、平面的な連続性を確認しました。
0:14:46	39ページをお願いいたします。
0:14:50	左の調査位置図に示しますように、
0:14:53	破砕部1を確認した地点と注水量の間である北方延長位置で、追加ボーリングを実施しました。
0:15:02	その結果、破砕部1に対応する破砕は想定延長範囲に認められませんでした。
0:15:09	浅い位置は、このボーリングの南側で、K-12と会合する関係にあり、
0:15:15	K-10には追加ボーリングで認められたことから、破砕部1はK-12を超えて北方へ連続性出席らまで連続しないと連続性に乏しい破砕部であることが確認されました。
0:15:29	40ページには、破砕機の想定延長範囲のコア写真を示しておりまして、
0:15:35	d-10に対応する破砕部以外にもおk-13に対応する破砕棒確認しており、右下に示しております。
0:15:46	これによりK-12とK-13の平面分布を見直してございます。
0:15:53	以上の検討の結果、海岸部の断層は42ページの平面図と断面図に示しますように、A-1からK-2323本の断層が分布すると評価いたしました。
0:16:08	43ページからは、断層の性状の説明になります。
0:16:13	45ページ、46ページに各断層制度の概要を示してございます。
0:16:21	46ページに示す海岸部の断層のうち、
0:16:25	紫色となっている部分が今回の検討で変更となった部分になります。

0:16:31	それぞれの詳細につきましては、47 ページから 63 ページ、各断層ごとに示してございます。
0:16:39	断層の性状については以上となります。
0:16:44	64 ページからが、鉱物組成について御説明いたします。
0:16:50	65 ページ、66 ページには変更ございません。
0:16:55	67 ページをお願いいたします。
0:16:59	今回、県の 18 から K-23 の粘土状破砕部と補欠した破砕部のエックス線回折分析結果を追加し、幼虫に紫色で示してございます。
0:17:13	いずれの断層もほかの断層と同様な鉱物が認められてございます。
0:17:20	68 ページに分析した位置図を記載しています。
0:17:26	69 ページから 71 ページにつきましては変更ございません。
0:17:33	2、72 ページから 7 断層の運動方法については説明となります。
0:17:39	まず、採用部となりますが、73 ページの陸域の断層と、
0:17:45	74 ページの海岸部の断層のうち K-1 から K-17 までの第 2 につきましては変更ございません。
0:17:56	前回まで運動方向不明としていた K の 18 から K-23 の六法の断層について、今回、運動方向のデータを新たに取得しています。
0:18:07	その結果、いずれの断層も固結した破砕部は正断層センス。
0:18:12	粘土状破砕部は縦ずれ卓越の逆断層センスが認められました。
0:18:18	77 ページ以降に各断層ごとの詳細な運動方向観察結果を記載してございます。
0:18:27	78 ページをお願いいたします。
0:18:31	こちらでは経営の 18 の運動方向を観察した結果の概要を示してございます。
0:18:38	右上の表の赤枠で囲った部分を次ページ以降に記載しており、それ以外のデータにつきましては、補足資料に添付してございます。
0:18:48	79 ページをお願いいたします。
0:18:52	こちらには固結した破砕部の運動方向を確認したボーリングのコア写真、
0:18:58	80 ページには、その観察結果を示してございます。
0:19:04	この効果は断片の配列と全断面の関係から正断層センスを確認していました。
0:19:12	続いて、81 ページをお願いいたします。
0:19:15	こちらは粘土状破砕部の運動方向を確認したボーリングのコア写真を示しており、
0:19:21	82 ページには、コアの拡大写真と CT 画像
0:19:26	条線の観察位置薄片の作成日作成位置を示してございます。

0:19:33	83 ページには、調整の観察結果を示しており、34barと64 で条線が認められました。
0:19:40	この条線観察結果をもとに作成した薄片写真が 84 ページに示してございます。
0:19:48	85 ページには薄片の詳細観察結果を示しており、
0:19:52	断片や粘土鉱物の定向配列から粘土状破碎部中に右横ずれを伴う逆断層センスを確認してございます。
0:20:03	2 ページ以降には、今ほど説明したKの 18 と同様に、K-19 からK-23 の追加した温度方運動方向観察結果について、
0:20:14	86 ページから 124 ページまで記載してございます。
0:20:21	25 ページをお願いいたします。
0:20:24	約 25 ページから 2 章のまとめとなります。
0:20:29	126 ページにはまとめを記載してございまして、中ほどに記載の断層の分布の項目で、海岸部の断層がK-1 からK-23-23 本の断層が認められたというふうに修正してございます。
0:20:44	それ以外につきましては変更ございません。
0:20:48	127 ページの陸域の断層の一覧表につきましても変更ございません。
0:20:55	128 ページの海岸部の断層につきましては、今ほど御説明してきた内容につきまして、変更した点を紫色で記載してございます。
0:21:09	2 社は設定上は以上となります。
0:21:13	続いて 3 章です。30 ページ目をお願いいたします。
0:21:20	今回、注水量に分布すると評価したA-17、K-18-20K-21。
0:21:28	さらに、今回新たに抽出したK-22、K-23-6 本の断層を重要施設の直下にある断層とそっち重要施設の直下にある断層はってんで 20 本になりました。
0:21:42	その説明は以上です。
0:21:45	次に、131 ページから
0:21:47	4 章の評価対象断層の点検に関する説明となります。
0:21:53	133 ページをお願いいたします。
0:21:57	こちらには評価対象断層の選定手順を記載してございます。
0:22:02	右側にフローやり側にそれぞれの検討方法の詳細を記載しておく。
0:22:07	フロー中の紫色で示した箇所が、前回の会合から変更した箇所になります。
0:22:14	今回、コメントNo.96 を受けまして、
0:22:18	4 項目のデータに基づく系統区分で、
0:22:21	弊社方向を加味することとしたこと。
0:22:25	また、K-18 からK-23 の六法の断層の運動方向データを新たに取得し、

0:22:32	系統区分される断層が増えたことで、
0:22:35	これまで評価対象断層としていたということに加えて、新たに県の 18 を選定することとしております。
0:22:44	以降のページで詳細に御説明いたします。
0:22:48	135 ページをお願いいたします。
0:22:52	これら 4 項目のデータに基づく系統区分のまとめとなります。
0:22:58	今回 4 項目のデータのうち、弊社につきまして傾斜角度だけでなく、
0:23:04	弊社方向を加味することとしたため、系統から 6 系統に細区分されています。
0:23:12	右の系統区分結果の表を使って説明いたしますと、
0:23:17	まず走向は緑色で示す 1 系とオレンジ色で示す 2 系に区分されます。
0:23:24	3 につきましては、弊社角度は S9 以外はいずれも広角であり、区分されませんが、弊社方向は東傾斜の断層と西傾斜の断層に区分されます。
0:23:39	また固結した破碎部の運動方向は確認されたものは、いずれも正断層ですが、粘土状破碎部の運動方向は逆断層を示すものは正断層示すものがございます。
0:23:52	また、縦ずれが卓越にもおよ横ずれが卓越するものに区分されます。
0:23:59	以上の部分から、上から順に S8 が区分される 1 日かけ、
0:24:06	S1 と Bさんが区分される位置東二系。
0:24:10	4 が区分される位置東成形、
0:24:14	S2S6 と計 14 が区分がなされるに、1 弱系。
0:24:20	SBOが区分されるに西左系。
0:24:24	そして、2、K-12、K-13 円の 15 時から K-23 が区分されてるニチガスじゃ K-6 系統に区分されました。
0:24:36	136 ページ以降にそれぞれのデータに基づく検討結果を示してございます。
0:24:43	136 ページには、左下に各断層の走向のシュミットネットへの投影結果。
0:24:49	右下に傾斜角度と計算方向を表した図を示してございます。
0:24:55	新たに K-22 というのに 13 を追加して検討してございますが、走向は変わらず 1 系統日経の二つに区分されます。
0:25:05	傾斜角につきましては、同じく S9 以外の断層は広角と区分される点に変更ございません。
0:25:13	そして今回傾斜方向について、MIS 計算を断層のほうが連続性がよいなど西傾斜の東傾斜で分布の特徴が異なる状況が確認できることから、弊社方向についても、系統区分に考慮することとし、
0:25:28	西傾斜の断層と近接東傾斜の断層で区分してございます。

0:25:34	続いて 137 ページには、泊層口径と傾斜方向ごとに整理した運動方向も観察結果を整理しており、
0:25:44	今回新たに運動方向のデータを取得したKの 18 からK-23 のロットのデータを加え、右下の層厚人間は東傾斜の表にまとめてございます。
0:25:58	いずれも固結した破碎部の運動方向が正断層粘土状破碎部は縦ずれ卓越の逆断層が認められています。
0:26:08	138 ページには、運動方向の考え方って、
0:26:12	139 ページから 141 ページには、粘土状破碎部の運動方向データを
0:26:19	安全取りにシオンダイアグラムで整理した結果を示してございます。
0:26:23	これダイアグラムを見ますと、
0:26:26	同じ系統に区分されている断層の運動方向を示す矢印につきましては、いずれも同じ方向を向いている傾向にあることがわかります。
0:26:36	以上が 4 項目のデータに基づく系統区分の検討結果となります。
0:26:41	はい。
0:26:43	次に、前提でのSTEP1 切り合い関係による新旧検討について御説明いたします。
0:26:51	143 ページをお願いいたします。
0:26:55	これまで検討してきました。2 と。
0:26:58	A45 ページ切り合い関係、
0:27:03	3 と 10 と切り合い関係の検討の結果を元に評価対象断層として選定し、4 敬語は経営に評価を代表させること。
0:27:14	また、1 計算軽重につきましては、
0:27:18	入れ関係が明確に判断できないため、次のステップ以降で検討を行うという結果に変更はございません。
0:27:26	今回、コメントNo.90 校の計 4K5 及びK2 の分岐部として行ったK-22 の深度方向における断層配置や切断関係の整理を踏まえまして、
0:27:41	計 4 計 5 件 22 の深部方向の断層分布について検討してございます。
0:27:48	163 ページをお願いいたします。
0:27:56	営業系 5 件 22 の断層分布に関わる調査結果を整理したものが上の四角になります。
0:28:06	海岸部露岩域の調査は事業面には計 4 系は認められてますが、経営の 22 に対応する破碎部は認められません。
0:28:17	また、取水の付近で実施したボーリング調査の結果からは、右下の断面図に示すように、
0:28:24	平穏と敬語は深部方向で介護しますが、

0:28:28	切り合い関係については不明です。
0:28:31	また、K-22 棟提案を敬語は深部方向では開放せず、
0:28:37	いずれの断層も、地下浅部まで連続していません。
0:28:42	次に、左下の平面図は、
0:28:45	実際に炉心の付近であるELマイナス 20 メーターからELマイナス 40 メーター
0:28:52	面的な断層分布を検討した結果となります。
0:28:57	20 には計 4 を越えた先のボーリングである。
0:29:01	全員が一遍K-27 項では見たら認められませんでした。
0:29:07	これらの結果から、K-22 は 4K5 と介護せず、
0:29:13	いずれも深部方向への連続性に乏しい断層であることが確認されました。
0:29:20	164 ページには取水が付近で確認した計 4K5、22 の性状と。
0:29:28	22 が認められなかったボーリングをコア写真を載せてございます。
0:29:36	ステップ 1 の説明は以上です。
0:29:39	続きまして、ステップにトークが断層規模重要施設との値関係による検討について説明いたします。
0:29:49	166、167 ページを見開きでご覧ください。
0:29:55	ステップ 2 では、先ほど系統区分遮断層のうち、同系統に区分された断層の中で、
0:30:02	断層規模が大きい断層を選定するものとなります。
0:30:07	167 ページの表を用いて説明いたします。
0:30:11	それぞれの系統で、断層規模が倍ぐらいのもんって最大のものを選定していくと。
0:30:17	上から順にまず位置については計でS8
0:30:21	1 東右計でS1、
0:30:24	2200kVASNS6 と計 14。
0:30:28	右左停電S4 が選定されることに変更ございません。
0:30:33	2 東約件に区分される断層については、今回、計 18 から権威予算が六法も断層が追加されております。
0:30:41	断層長さや破砕部の幅の最大値という観点からはK2 が最大となりますが、平均幅の観点から、K-18 が最大となります。
0:30:52	従って、経営には別途位置選定済みですが、計 18 を新たに評価対象断層として選定します。
0:31:02	それ以外のKの 12、K-13Kの 15 からK-17 円の中からK-23 については、
0:31:09	評価対象と設計 2 とK18 に評価を代表させます。

0:31:15	168 ページは、系統区分されない断層のうち、
0:31:19	いう溶接の位置関係による検討ですが、こちらは、S5 とS何二つが選定されることに変更ございません。
0:31:27	以上がステップ 2 の検討となります。
0:31:30	169 ページから来て 3 隣接する断層との関係からの個別検討について場合ます。
0:31:38	170 ページと 171 ページを見開きでご覧ください。
0:31:43	X3 では、系統区分されないかつ重要するつちゅうか直下でない断層について、隣接する断層との関係から、個別に検討を行うものとなりますが、こちらについては、前回の選定の審査会合から内容の変更はな。
0:31:58	3 を評価対象断層として選定しています。
0:32:03	約 72 ページ以降に各断層の個別検討結果を記載してございますが、内容に変更はございません。
0:32:11	以上がステップさんの説明となります。
0:32:14	最後に着工 87 ページをお願いいたします。
0:32:19	こちらに評価対象断層の選定結果をまとめてございます。
0:32:24	今回、4 項目のデータに基づく区分のうち、閉鎖について傾斜角度だけでなく、傾斜方向も加味することに変更いたしました。
0:32:34	また、K-18 からK-23 の運動方向データを取得したことで、
0:32:39	これまで選定していたリクリーブの本。
0:32:42	愛眼の 3 本の断層に今回新たにKの 18 を加えた 9 本を評価対象断層として選定しました。
0:32:51	180100、百八十八、九百 89 ページを検定結果を一覧表形式、
0:32:57	190 ページは図面形式で整理負担を加えます。
0:33:01	本資料の説明は以上となります。
0:33:05	続いて補足資料についてですが、
0:33:08	目次をご覧ください。
0:33:12	目次をご覧くださいと、グレーの部分と黒い色で表示した部分がございませが、今回はいろいろ表示した部分を御資料で説明した変更内容を反映した部分。
0:33:24	またエックス線回折分析結果や運動方向データを追加した資料として、今般、添付してございます。
0:33:33	促進説明は以上となります。

0:33:36	最後に、データ集についてですが、提案書についてはデータ集FPT23、いずれにつきましても、V位置の連続性を検討した言い出すの一遍5-30個の柱状図コア写真、ボアホールカメラ画像を提出してございました。
0:33:56	また、柱状図につきましては、
0:34:00	'1の
0:34:01	10-1-11 ページの一覧表を例に御説明いたしますと、
0:34:08	今回、J-22-23 を新たに抽出したほか、浅い部分に破砕部4をそれぞれK-20K-21 としたため、柱状図の対応する破砕部の記事に断層面を追記し提出してございます。
0:34:27	追記した急増について柱状図については、
0:34:30	一覧表に紫色で記載してございます。
0:34:35	また、ボアホールカメラ画像につきましても、
0:34:39	追加ボーリングである。
0:34:41	ギヤ式のいずれも30個に加えて、今回1-0.2-75校のA-19に対応する破砕部につきまして走向傾斜を主せん断面位置のものに修正したため、この校のみ修正再提出してございます。
0:34:58	違うの説明は以上となります。
0:35:05	施設をとりあえず説明ありがとうございました。
0:35:08	それでもちょっと順番に確認していきたいと思えます。
0:35:16	今回の資料なんですけど、全体の構成としては、評価対象断層の選定ということで前回の会合を
0:35:26	で考えてた考え方で選定のフローですね、例えば8ページとか、
0:35:32	もう言った選定のフロー自体は継続分も若干書いたりをしているけれども流れは変わっていないとねそして等新しい調査としては、ボーリングは1個これは破砕部1の連続性の確保、
0:35:49	そして沿線数を薄片を
0:35:54	用いたセンスの取得ということで、県の17年以降ですかね、とかされてる4、
0:36:02	いうのを、
0:36:04	新しいちょっと調査データとして桁ってということで、その他を特に新しい調査データというのはいってことですね。
0:36:15	はい、北陸電力のタカザワですけども、今本当におっしゃった通りでございまして、傾斜方向だけは関心したけれどもそれ以外は前回の考え方に基づいて、追加のデータも再三言われた通りでございます。
0:36:35	はい、ありがとうございます。それで、そういったあとは断層の連続性だとか、もう系統の区分とかを一つ一つも解釈、あと分岐を

0:36:49	分岐と今までしてたのをちゃんと発災断層として認定して言うと、要するに今解釈を評価を変えたものを、まだその個数だとか、そういったものが変わっているっていいですね。
0:37:06	はい、北陸電力タカザワでございます。はい、これは前回の審査会合のコメントを踏まえまして、やはり委託があるものは不確かさを考慮すべきということで、今回、不確かさを考慮しまして、それぞれ個別の断層として注視してございます。
0:37:22	以上です。
0:37:25	はい、ありがとうございます。
0:37:27	アマゾン全体の流れとしては確認できて断層として日本増えて、
0:37:35	もう
0:37:36	最終的な評価対象断層としては、
0:37:39	この 18 ですか、これが降るかということで、
0:37:43	それで十分になったということでよろしいですね。
0:37:48	はい、北陸電力タカザワですはい。その通りでK-18 につきましては今回破砕部の平均幅が大きいということで、新たに抽出してございます。その点のみ 1 件のみ追加変更となっております。以上です。
0:38:04	はい、ありがとうございました。私もこれ白い先ほどから聞いてテーマコメントに対応したようなものを抽出とか検討されてるんだと思いました。それでちょっと 1 点、
0:38:19	介護での指摘等、
0:38:22	がどうなったのかなというところで、若干ちょっと、
0:38:27	国民 1 人ですけれども、
0:38:29	破砕部 1 ですね、この破砕部 1 っていうのは、所ページ。
0:38:35	のコメント回答の対応として破砕部 1 課サイクルに破砕部 4 については、これは今日
0:38:44	個別の断層として扱う必要があるんじゃないのかっていうふうにもう介護では指摘したんですけど、また最後 1 については追加ボーリングをした結果、断層として使おうと圧損でいいんだよってという説明されてるんですけど。
0:39:03	これはあれですかね、その破砕部 1 っていうのは確かに、例えば取水量に連続しないとしても、ある程度の長さをもっとどんどん破砕部。
0:39:15	こういう観点で、断層として多く使わんなの今までの御説明とか整合とれてるんですか。
0:39:26	北陸電力タカザワですけども、我々の、まず、まず我々の抽出フローを説明しますと、我々の抽出フローは 21 ページですね。

0:39:40	21 ページで見させていただきますとその下の四角の米の 2 というところがございます。
0:39:50	米の 2 で破碎部の連続性の検討手順ということで、直接アクセス確認平面的には直接確認できる長さ 50 メーター以上のやつは、破碎連続性する破碎部、いわゆる断層として抽出すると。
0:40:05	その下の矢羽に少し書いてあるんですけども、その下の一番下の行ですね、連続する破碎部で平面的な長さの確認できない場合は深度方向の検討を行い、上端下端のいずれかが確認できない場合は、
0:40:22	連続性を有する破碎部として評価案として抽出するんですけども、それ以外については基本的には拠出しないということで、今までの考え方とは成功しているということと、あと先ほどの 5 ページの戻っていただきまして、
0:40:40	審査会合でのこれ高見さん、コメントされてましたけれども、そのときの趣旨というのが破碎部 1 と 2 と 4 っていうのは、
0:40:50	7 ページですかね、前回の 7 ページが分布の破碎部 1234 って書いてありますけども、これについては、主水路深度にこの共済金で分布するものだとということで、こういう分布し水量に分布するものについては重要施設、
0:41:09	いうこともかんがみまして、短いものでも、断層として抽出すべきではないかというふうなコメントがございまして、そういうものについては断層として抽出すべきということがありましたので、今回破碎部 c については、追加ボーリングで主水路頻度には連続しないと。
0:41:28	ということが明確に確認できましたので、これは従来の我々の考え方に基づきまして、破碎部のままという形での評価をさせていただきます。以上です。
0:41:41	はい。
0:41:43	考え方を確認できました。つまり取水量に連続するもの等連続しないことをちょっと違うんじゃないのかとここのナイトウの趣旨としてはですね。あとはまず自分ちよ。
0:42:02	火災の部分の特定断層の認定の 21 ページに載っていると、
0:42:09	アスタリスクの 2 ですか。
0:42:13	2 ページで、
0:42:16	断層として、
0:42:18	抽出されないんだという説明だと見込みましたとその辺を確認していくという、思います今後ですね。
0:42:27	続いて、確認なんですけれども、
0:42:33	今回、
0:42:37	はい。

0:42:40	最初にとか 7 ページからですかね、7 ページ。
0:42:48	V-2 と破砕部 4 は、それぞれ
0:42:53	改めて評価し直して、
0:42:55	細部についてはK-22 年度つつあつ細部 44 ローマ数字の 4 については、いわゆるK-21 の一部だと評価したっていうことを書かれてるんですけども、これ
0:43:12	そうして評価するものなんですけど、今まで、前はそうしていなかったのに、今回はそうするって項目違いついていうのは何をもってして
0:43:26	評価を変えたのかっていうのをもう少しちょっと詳しく説明していただけないでしょうか。
0:43:33	はい、北陸電力のタカザワですけども、まず真なページ見ていただきまして、例えば破砕部の 2 とK-20 行令に説明したいと思います。
0:43:46	で、K-20 については、まだこれ、あくまでも今この 7 ページで示してるのは、6 ページの調査断面のところで取水量とは二、三十メートル比較した部分でございます。
0:43:58	これにつきまして前回少しコメントいただきましたけども、取水量までいってしまうと、もしかしたら、K-20 がもう少し深部まで延びるんじゃないかというふうなご指摘がございました。我々としても可視化にその可能性は否定できないということで、
0:44:17	A-20 について、深部方向修正の深度まで連続するものとしていきますと、その先には破砕部にございまして、K-20 とK-2 の、例えば走向傾斜とか見ますとほぼ 1 直線上にあつて走向傾斜も類似すると。
0:44:34	ということから調査 1 断面ではポーリングではないんですけどもそう少しさっき言った取水量ではあるかもしれないということで、これについては一連の断層として、評価するというふうな形に変更してございます。K-21 年についても同様な形で 21 条延ばしてしまうと。
0:44:53	4 と、ちょうど位置しますので、別途後継者も類似するというのでこれも一連の断層として評価すると、そうした考えをしてございます。以上です。
0:45:06	ハイパーの考え確認できました要するに調査官面での評価っていうのは特に変わったものじゃないんですけども、これが取水用に投影された場合にどうなのかっていうのを会議の指摘を踏まえて考慮して、
0:45:22	連続するとしたということですかね、それでよろしいですか。はい、北陸電力はタカザワですけども。はい、それでよろしいですか。
0:45:35	はい、確認できました。
0:45:46	それから、

0:45:49	規制庁ナイトウですけども、今のね、破碎部ロバストに大きめの 25 年延長したという考え方ですので、よくわからなかったんだけど、前のときには、同じボーリング割って閉等、
0:46:06	注水量から離れている連絡通路のところと凍りにくいで評価をしている。
0:46:12	ボーリングの結果になってるんだけど。
0:46:15	その重みづけ繋がっていないとしていた方、
0:46:21	何で繋がってるとしたほか、
0:46:24	というのはよく理解できないんだけど、そこはどのような考え方がですね。
0:46:29	遠くに繋がる可能性があるっていう話ではないんです。
0:46:34	。
0:46:36	はい、北陸電力のタカザワですけども、確かにそう 7 ページの断面では調査データでは繋がらないということで、あくまでも表示は 3-6 ページ見てごさい 6 ページ見ていただくとわかるんですけども。
0:46:54	変遷ということで、この調査断面では波線ということで、さらに延長する可能性のある箇所という表現をしてごさいます。
0:47:03	ただし、主水路設置名に分布する断層か否かということを言われますと、主水路位置ま出戸投影するともしかしたらこれが牽制が実際になるかもしれないということで、被水を接地面に隣接する断層として評価してまして、
0:47:20	あくまでも調査断面の表現としては頁に示しますように、まず、点線でこの値ではちょっとわからないので、さらに延長する可能性のある箇所という表現でしてごさいます。
0:47:35	以上です。
0:47:43	被せてから、pptですか。
0:47:47	うん。
0:47:49	規制庁の服部ですけども、厳しい側はあまりよく理解できなかったという。
0:47:58	非常に
0:48:00	特にですが、
0:48:46	はい。
0:48:49	はい。
0:48:55	20
0:48:57	何本かって、
0:49:14	はい。
0:49:25	29 棟。
0:49:28	もう
0:49:30	ここの連絡通路というっていうのは、現地の 2-6 と。

0:49:37	道の青量はあって、
0:49:41	昨日 2 方向で割ってH-2-3 のところがどうなってるって線で結んでいるかよくわからないんですか。北陸電力のタカザワですけども、左から言うと、駅のマイナス 2.6 とマイナス 2.5 では合まして、
0:49:58	この右のH-マイナス 2.3 のこのボーリングのコアでは確認されなかったということでございます。
0:50:16	そういうね 0
0:50:18	うん。
0:50:19	V、
0:50:21	ローマ数字 2 が、
0:50:24	ローマ数字 II で言いますと、同じく駅前が左から言いますと、Hマイナス 2.3 では確認されずに、
0:50:32	その右の時マイナス 2.18。それから少し飛びますけども、にも一期マイナス 1.86 というところで確認されてその先ではなかったと。
0:50:47	いう状況でございます。
0:50:56	もう神戸の連絡通路のところでも、真ん中のcのところにも断層と思われず最高ありませんね。
0:51:09	はい、そうです。
0:51:12	いえ、不履行取水量と、
0:51:15	なんで繋がるって評価なるのでしょうか。
0:51:20	繋がるかどうかは剥離のタカザワですけども繋がるかどうかはわからないんですけども、このK-20 と破碎部にというのが走向傾斜も類似しているというのと、あと、位置関係も直線上結んだ位置にあり、あるので。
0:51:38	不確かさを考慮すると、もしかしたら取水の頻度まで取水の位置まで行くと、これらが連続する可能性がある可能性があるということで、これらは出水を設計に分布する断層として今回で評価したという形でございます。
0:52:03	硫酸として、
0:52:06	つまり、
0:52:07	石塚硝子の比率と思います。
0:52:23	内論理構成のよくわからないということを新聞に続いていかないということが確認できた。
0:52:32	遅いと群列ボーリングでね、確認できた破碎部と深部から地表に向かって連続して行ってないということが確認できている。
0:52:44	破碎部をこの調査位置から離れたら 1 本に繋がるというふうにも展開されてるということでスモリばよく、

0:52:58	北陸電力の浜田です。ちょっと考え方を一度も1回整理させていただきたいんですけども、KKのまず21のほうから今の画面をもう1回出してもらっていいですか、ケア21の方からちょっと
0:53:14	まず、
0:53:15	名させてもらいますと、まず、K-21っていうのと、ローマ数字の4も先ほどタカザワが説明したように調査地点のデータだけを見ますと、途中に繋がっていないところを確認しています。
0:53:32	一方でこのK-21が主水路Aに1で市政何かどうかという不確実性の検討もしたときに、K-21は、調査地点が離れているということから、
0:53:48	主水路位置では到達しているものとこれらのデータからではなくて、不確定求めた対策として考えますと、温室とその道中に、その破碎部のローマ数字の4が、
0:54:03	入ってきててしまいますので、解釈した段階に破碎部の4はもうK-21と同じものになってしまうということで、一部という考え方をさせていただきました。
0:54:19	次にK-20のほうですけども、K-20も資生堂設置水量の場所に行きますと、先ほどなんていった場所にまでへ到達する可能性があるとするとかつそこまで来ますC破碎部にも同じように
0:54:36	破碎a破碎aを調査地点からのずれを考えて実施するまで行くと、そこまで設置到達するということをしますと、この断層のつなぎ方のルールでいきますとこれがもう一連のものになってしまいますので、
0:54:51	この順番として考え方の順番としましてはまず、K-20と21以下、調査地点がはがれた取水量の1では、取水の知見に到達するという解釈まず1回して、それを踏まえてもう一度断層周辺の破碎部見ますと、
0:55:08	含まれる或いはもうほとんど連続してしまう4と2がありますのでそれを断層の考え方の流量に従いまして、一連の断層としたというのが、考え方になります。以上です。
0:55:45	次に私聞いています。
0:55:56	はい。
0:55:59	五つの
0:56:05	あと、
0:56:07	それから、
0:56:37	評価対象
0:56:43	やっぱりねって書いてよくわからないということだけ密度の高いところで限るっていうとしているものがちょっと離れたところでいけば繋がって一つの断層として評価できるっていうその合理的か外から来てない。
0:56:58	別々などの答弁ですよねこの調査結果。

0:57:02	もしその調査結果が成功すれば、それを少し隔離が行われたところでも一つの断層として考えていいとする動いて隔離効果はないんだけど、そこも一つ一つの扉とかハマダです。
0:57:18	コマツAAK-21-20 が主水路設置面まで到達する断層とするかどうかということ、今の経営に充当 2 が人気になるかどうかというの、これ論理的に言いますと、どちらかが、
0:57:37	成り立たなくなる。つまり出資取水炉我々が調査では別々だったという以上はこれ主水路まで行った先でもない可能性があるのが一つなんですけども、やっぱそこでもしかしたらあるかもしれないとってしまうと。
0:57:56	このK-20 と破碎部が 2 件 21 破碎部 4 というのが、これが一連の断層になってしまうということで、どちらかの選択しなきゃいけないわけなんですけども、本当に今回我々としては保守性を考えまして、
0:58:13	計 20 と 20 が取水炉の設置まで 12 連続する。そうすると、本来調査データが離れているとしていた破碎部が、これは同じ考え論理性を担保するにはこれが一連の断層としなければならないということで、
0:58:29	そちらのほうの解釈を、今回は選択したということになります。以上です。
0:58:40	別なんですよ。いや、説明聞いても、
0:58:44	理解できないんだけど、調査位置では別物ですと、深部から一定の日程上伸びていってるもので突然止まってるというものと、
0:58:52	9 表上から延びていって指定したところ、止まってるというふうにボーリング、群列様のほうで評価されているものであって、
0:59:01	それがなんですぐ保守離れた場所に繋がったり、一つの断層定数となるのかわからないかんわけ。
0:59:11	逆に英語で等、
0:59:13	声を県に 10 月つなげてるんだけど、
0:59:17	もうK-25 上からいったら繋がってないという形で規則ができているという理解でいいんですよね。そうすると、右側、K-2 っていうのは僕は取材経緯もには公債系ってないのでするっていう数字として変わったらいかんわけなんですけど。
0:59:35	一方のもろくしますっていうふうに展開が繰り返し、
0:59:41	このフレームのハマダです。ちょっと考えとしてはまず県の維持になるとそういう上から下から話あるんですけども、ちょっとK-21 問 4 のほうをまず見ていただくと、K-21 と 427 についてはもうおわかりやすいといえますか、K-21 が、
0:59:59	離れていくと取水量まで行くとすると、それがどう考えても、破碎部の 4 がもうそこに含まれてしまいますし直線上で、

1:00:11	これがもう別々のものというのが逆にK-4 は別に別々だという説明がなかなか、逆にできないといえますか、そこでこういうものは1 一部だという考え方を
1:00:29	今回取りました。それと同じ考え方にしますと、K-20 とかそういうのにもお互いに伸びていって繋がってしまいますので、これも別々だというのが違う説明できなくなるので、行き一部一緒なものだというふうに
1:00:44	今回考えました。
1:00:46	以上です。
1:00:51	規制庁なんですけど、やっぱり議会これ全体のプロジェクトの規模等関係の中でそういうふうに展開することによって、当規模を大きくとってよっていう、そういう考え方を開会このところで見え繋がるということは非常に不自然なんだけど。
1:01:09	そこに低下を考えるのか理解できない。
1:01:21	その以外のけれども、一方、
1:01:25	冒頭する。
1:01:27	耐震重要施設の方に御もうすぐ断層きちんと拾いますかっていうと、
1:01:37	競争力繋がってないものと判断できているものをつなげますっていう話は別の話になっちゃってて、それを全体のロジックの中低層評価することによって、これだけ広いようにするんだっていう帯体系るだったらそれで。
1:01:53	理解するんだけど、その繋がりが要はか
1:02:05	他電力のハマダですけども、この後の論理性という話になりますと例えばK-21 と破碎部の4 が同じく取水炉に設置するものだとして、
1:02:20	合わせて取水の設置位置に連続する断層だと扱って、ただこれは別々のものだというふうなも考え方をしたとしてもですね、県の21 と800 年は走向傾斜もほぼ一緒ですし、
1:02:35	アンケートの中に入ってくるものですのでこれらは
1:02:42	結局は一緒なものといえますか。
1:02:46	別々にしたと考えておりましたが、断層としては、そのほとんど一緒な一緒。規制庁としては一緒になっていきますので、そこはこの後の展開でそんな大きく影響しないかなと思っていかがでしょうか。
1:03:06	はい。
1:03:12	はい。
1:03:13	所皆さんが両方を考えてそうすること。
1:03:18	なお保守的だとしてるのがよくわからないのでそこはきちんとやはり落とし込んでもらえませんか。皆さんの展開、

1:03:33	北陸電力のタカザワですけども、ちょっと確かにその論理が飛躍しているので、ちょっと、ちょっと考え方をもう一度説明すると、33 ページを見ていただきまして、
1:03:46	多分もともと調査位置では、この 33 ページの上に今経費社会的ないですけど、上に示す分が計 20 でしたりする示す部分が破碎部にございます。
1:04:00	これについて、破碎部の日当K-20 が取水の接地面に分布するというふうにここで主水路で保守的に評価すると、これが県線で繋がってくると。
1:04:15	いう形で位置の担当となったということなので、
1:04:19	こちらの方から順番にこう考えて主水路駄目上がったときに来するからこれを調査位置で落としたときにはそれを点線で繋いでいるとか、そういうふうな形でちょっとその考え方の順番がいきなり結論先出でちょっとわかりにくくなっているの、
1:04:37	本件については、しっかり説明をもっかい書きたいと思います。
1:04:52	どうぞ。
1:04:54	このね、当間の交流てないと評価しているんですよってのいうふうな性状があって、そのビルもまたは等々と考えるのかどうなのかということでお考えですよ。間のボーリング、これだけ見るといって、日本
1:05:09	間にナイトウの皆さんが評価しているのをつなげるというのが、
1:05:17	それでは、この断面だけで見れます資料不自然
1:05:21	いやって、
1:05:23	どちらかというK-20 については向こうはしないんだけど、どうも数字には出てきますので、5 月にナンバリングをしてどの方向として、ホットフルパワーしますというふうに説明されるんだったら理解するんだけど、
1:05:41	この結果がよくわからないので、そこはしっかりと文字起こしをしてもらえませんか。
1:05:52	フジタのハマダです。ちょっと今の内その話を聞いて、あと儘田の考え方持ってしっかり整理しますけども、例えば今ほどの私の設置、我々の説明で、
1:06:10	調査データでバラバラだということと、朱色接地面に連続スルー保守的と考えて連続すべきとのほうがいいんじゃないかすべきではないかというものを両立させるために、例えば破碎部の 2 と 4 は、
1:06:26	このまま破碎部として断層としては、施設にK-20 と 21 のほうを代表させて取水の設置が取水量に一番Aで到達する断層として、
1:06:40	考えるということも家可能ということでもよろしいんでしょうか。
1:06:51	規制庁タニです。ちょっとそれもかみ合っていないかなと思って、やっぱ。例えばなんですけど、K-20 等ローマ数字の 2 の破碎部ってしているもの、これ、例えば等々、

1:07:07	これ等沿岸面なので、その取水量のところを見たときに2本あるっていうような考え方だっ。
1:07:14	できますよねっていうような趣旨だと思うんですけど。
1:07:19	その辺はどうしてその1本にしなきゃいけないのかっていうのが今の説明では、ちょっとおわかりにくい、よくわからないところがあるところの同じくK-21 家閉ローマ数字の4という破碎部にしても、
1:07:36	本断面での飛び出ていると言っているというか、同じも比べるのかな。報告だけで比べているので、ちょっとその辺、両方の断層が両方断層だとしてそれがもう取水を
1:07:52	のほうに二つとも出てもおかしくないんじゃないのかなっていうについて説明できてないんじゃないんですかねっていうそういうふうな思います。
1:08:01	いかがですかね。ちょっと考え方を
1:08:04	まとめてもらったと思いますけど。
1:08:08	北陸電力の浜田です。あの、趣旨理解いたしましたのでもう一度、経営の日統計に充当破碎部42の関係につきましては、再度整理して御説明したいと思えます。
1:08:21	規制庁タニです。お願いします。それで等追加でちょっと確認させて欲しいんですけど、今のK-21 と思う数字4の破碎部の関係としては、これは平成層を見ているのはこっち側の鉄塔破碎部で、
1:08:39	今見えていますか。
1:08:42	また、片方だけにしているんですね片方だけという言い方ですけど、繋がると思ってこの7ページで言うと、どう
1:08:51	分けて考えるとどちら側で設けてますかかっていうのを確認したいんですか。
1:08:57	当北陸電力のタカザワですけども、104ページを見ていただきまして、もう簡潔に答えてくれたらいいですか。どっちかっていうかけた方、これについては両方とも行けまして、
1:09:14	104ページで浅いほうのボーリングで
1:09:19	A-21でも見てますし、このボーリングで営農破碎部4のほうでも意見がございます。
1:09:27	この中で、例えば、例えば二つあったとしても良好計画部のものでできるデータかってことで、しっかりしましたけどいいですか。
1:09:37	K-21については、そうでございますんで、K-20のほうは、
1:09:45	説明
1:09:47	方、
1:09:49	はい。

1:09:51	はい。
1:09:52	94 ページの
1:09:54	96 ページなんですけども。
1:09:58	これ少し性状が非常に不明瞭なやつで、上のほうでは変数が確認できているんですけども、K-20 側ですね、下のほうでは条線が確認できるんですけども、変位センスまでは明瞭には少し、
1:10:13	読めないという形で、そこについては少しデータが内と条線方向だけが一緒ということは確認してございます。
1:10:24	以上です。
1:10:29	はい。事実関係を確認できました遠いかも起こったも比べたときに、何ていいですかねこ繋がってという判断をするんだということについて、例えば正常の観点で比べたりとかそういうことはされた上で、今つなげますということにしてるんですか。
1:10:49	はい、北陸電力のタカザワですけども、今ほど言ったような条線方向が同じ縦ずれということと、あと 31 ページのほうに示してございますけども、
1:11:01	31 ページのほうの表の下のほうですけども、K-20 と K-21 と今回紫色でもとも K-2211 と分けてますけども、これについても、幅が極端に大きいとか小さいとかないし、
1:11:17	あそこ傾斜もほぼ類似しているということから、これらについては、一連のものだというふうに考えてございます。
1:11:25	以上です。
1:11:29	はい、ありがとうございます。
1:11:31	事実関係を報告しました。
1:11:39	私はちょっと細かいかもしれない聞きたいんですけど。
1:11:42	なお、
1:11:52	規制庁マイクっていう全体の大きな方針だけ確認ですけども、
1:11:58	敷地のパターン評価をやるにあたって考えなきゃいけないねば集金いわゆる三条のものという情報をきちんと拾い上げて、
1:12:11	時欄を毎月三条返却するものではない形四条対象のものについては、
1:12:23	費用を起すものではないという評価が必要になるという。
1:12:28	このなくやって
1:12:32	このプロセスの中で、どういう考え方でやっているから全部拾い切れてるんです。そしてでしたっけ。
1:12:47	当北陸電力のタカザワですけども、8 ページが全体のフロー。
1:12:55	になってまして。

1:12:58	我々、8 ページのフローを見ますと、基本的に最初の段階でその三条か 4 条かというだけはしてなくてですね、すべて同一のものというふうに取り扱った上で、系統区分をして、
1:13:15	で、系統区分されるものについては、その中で断層規模の大きいもので評価を代表すると。
1:13:23	で、それ以外系統区分されないものについて、いわゆる 10 施設の位置関係で三条対象のものについてはすべて評価対象断層として活動性はしっかり見ますよすごいするならですねそれ以外のそうしたにくいのは実質四条対象になるんですけども。
1:13:41	四条対象であれば規模関係いわゆる連続性が大きいもののほうが当然見るべきですので、そこで隣接する断層との関係からより連続的に分布する断層拾い上げることで、34 条の評価をしているという形でございます。
1:14:11	はい。
1:14:43	規制庁ナイトウですけれども、
1:14:51	4 条。
1:14:54	もうないということを説明してもらわなきゃいけない。
1:14:57	4 兆がないというか 4 条になるもので機器が地震を起こすような断層がないということについても敷地だけ説明をしていただかなきゃいけないんだけど。
1:15:08	そうすると、まずは検討対象に上げる断層としてどういうものを選ぶんですかっていうところがあんまりはっきり書いてなくて、
1:15:21	これはどういうものを組上に上げる陸域海域の断層、33 個あるんですけど、これはどういうものを当工場に挙げてるっていう理解です。
1:15:34	北陸電力のタカザワですけども、同じく 8 ページのフローで左側に挙げたものを順番に言いますと、
1:15:42	上が一番上が切り合い関係なのでいわゆる新しいもの新しいとかうちにわかるものをまず挙げてます活動が
1:15:51	2 系統区分がステップ 2 ですけれども、その中で系統区分されているもので上げてるものっていうのは同じ系統の中で、いわゆる規模が大きいものを挙げてございます。
1:16:03	で、その次に、それが、系統区分できない今どういう動きが非したかわからないものについては 10 設備にあるものは全部上げると、評価対象とするということで、
1:16:16	でございます規制庁ナイトウですけれどもそれはゆこ 33 基の中での火災だけど 33 方はどういう観点で選んでるんですか。
1:16:34	33 号につきましては、我々の調査フローに基づきまして、21 ページになりますけども、

1:16:46	敷地で広く露頭調査とかボーリング調査しまして、破砕部を抽出して、いわゆる連続性がいいものですね直線す直接確認できる長さ 50 メーター以上とか、あと右側いましてフローで幅が大きいもの、
1:17:03	そういうものについて連続性を検討しまして、そういう連続性を有する破砕部につきまして、断層として命名しまして、33 番を抽出したという考えでございます。
1:17:27	ですけれども、敷地内のボーリング調査とかが東京支社に持って行って、
1:17:37	うん。
1:17:38	連続性のいいものとして高 10m 超えるものを
1:17:45	まずは等、
1:17:48	評価を行うべきものとして、
1:17:53	ピックアップしましたということですね、それぞれを閉とそのあと切手関係で評価対象トレンチとかっていうのはやっていくと 50m 以上の拾っているという中制三条対象断層の活動性を
1:18:10	地震断層かあるのかないのかってということについては評価できると判断してくという理解でいいですか。
1:18:17	はい、北陸電力のタカダですけどその理解で大丈夫です。
1:18:24	はい、わかりました。
1:18:35	規制庁のカイダです。
1:18:39	私もそこ苦労というか、この資料の最後に、
1:18:42	評価対象選定っていう
1:18:47	というかその地域一つだけちょっと確認したいんですけど。
1:18:52	そしたら今までずっと議論があって、ここで今、
1:18:57	この資料ということになるかもしれないということから
1:19:00	説明があって、
1:19:03	内容かもしれないですけど、改めて確認させていただきたいんですが、
1:19:08	今ほどもちょっと議論があったんですけども、評価対象断層的なものを最初に出てきて、
1:19:15	その選定ということになってくる評価対象断層っていうのは、これは今もちょっと説明あったと思うんですけど、これは何ですか。
1:19:25	三条、四条とか関係なく 33 円。
1:19:30	なかなかこれを対象になり活動性評価、
1:19:35	すぐ連絡とかの、ちょっと
1:19:38	定義みたいなものを設計とか、

1:19:42	はい、北陸電力のタカザワですけども、これ我々評価対象断層の選定としているのは、今ほど説明しました敷地に認められる 33 本の中において、どれに対しても活動性評価をフレキかということで、通常であれば 33 番。
1:20:02	だけすればよろしいんですけども、それに対して、どれかで代表できるものがあるかどうかということで、活動性評価すべきものにつきまして、評価対象断層という形に命名しまして、その選定をしているという形で、
1:20:20	今回評価対象断層として挙げたものにつきましては、活動性の鉱物脈工とか、上載地層法の評価をしていくというものでございます。
1:20:34	はい、ありがとうございます。
1:20:36	いうこと
1:20:37	まず、何か断層をグルーピング化中なんかも同じような性状のものを分けて、こん中で、
1:20:47	実際に評価を
1:20:49	そういうものが代表的なやつを、
1:20:52	見習うっていう活用今説明されようとして、
1:20:56	それですね。
1:20:58	はい、北陸電力の高田です。はい、その通りでございます。
1:21:04	ありがとうございますんだそうした場合には 9 日 1 ページのフローとかで、
1:21:10	もう一つのグループがグルーピングされてこれが代表的なやつですね、ことで、
1:21:17	調査した結果が、
1:21:20	思うような中で、先ほどおっしゃってた役員みたいなものがなかったとかに
1:21:28	今このフローとしちゃったんや約束が一括してくるっていう事はやっぱそっちでも好調さしていますということはもうないっていうか、そういった場合っていうのは想定は何かされてるこの 9 までちょっとわからなかった。
1:21:45	あと北陸電力でこのタカザワですけども、我々評価対象断層としたものが活動性評価の指定ができないと、基本的には活動性評価の指定ができないと考えておりますので、基本的に落としたものを
1:22:01	上げたものが、活動性評価ができないかなとって落としたもので活動性評価をするということは、基本的には考えていないという形で上げたものでしか評価していきたいという形で考えてございます。
1:22:24	例えば、
1:22:26	規模がちょっと小さいから、
1:22:29	こっちより
1:22:31	断層でやるっていうふうな評価で、

1:22:34	同系統だから全部使えるとかであって統計等の中でのみんな都度対象に中心的に評価されていく方針だということ。
1:22:45	そう。
1:22:47	はい、北陸電力のタカダですけども、配布労組のような形で考え方をつくってございますので、そういう形で評価していきたいと思っております。
1:22:57	その点、
1:23:01	わかりました。
1:23:02	今、
1:23:03	はい。
1:23:07	規制庁の最後に、このフローはあくまでも 2 号ということですよ。結局は規模の大きいものを敷地内で認める規模の大きいものと、結局珪質な顔は結局病棟を 2 号の取水量に露頭する可能性のあるものを拾っているという。
1:23:27	議会だけど、これはあくまでも 2 以降の
1:23:33	表 2 号炉も評価をするための評価対象断層の選定ということでよろしいでしょうか。
1:23:39	はい、北陸電力のタカザワですけども、これあくまでも 2 号炉を対象にした調査をしておりますので、2 号炉重要施設の位置関係も当然変わってきますので、それについては 2 号対象として考え方は変わらないと思うんですけども、その位置関係とか、そこら辺が変わってきますので、
1:23:59	基本的には 2 号対象とした評価対象断層ということで、はい、よろしいです。
1:24:06	はい。規制庁内でわかりました。
1:24:12	すいませんあのをクリック電力の小田です。私のほうから少し 1 点だけ確認させていただきます。さっき先ほどナイトウさんのほうから計 2211 のことについていくつかコメントいただきましたでこの考え方はけれどももう一度ちょっと再整理して、
1:24:30	この考えを載せさせていただきたいなと思いますんで前回 3 月の審査会合におきまして、やはり三条対象の断層というのは、これ非常に重要視すべき断層でということで、我々もちろん 30 大小というのは慎重に判断する必要があると。
1:24:49	考えました。その結果として今回計 1718、2211 とこの 4 本については、運搬道路と我々呼んでますけども 50m 重要施設から離れた位置では取水炉設置面までは到達しないと。
1:25:06	を考えたわけなんですけども、不確かさというか時の非常に重要 10 される事ということを考えて出水の設計まで行く可能性があるということで評価をして、今回、点線で繋いって何といいますか

1:25:25	設備の設置面まで延長するというような評価をしようということにさせていただきました。その結果計 20 と 21 というのは延長させて点線で結んだ結果、その延長にあった破碎部 2 と 4 というのがそれぞれあったと。
1:25:42	この破碎部 2 と 4 について、先ほどタニさんから御確認いただきましたけども、走向傾斜の性状一部見ていくと、やはり計 20 については破碎部にと性状をそこ計算類似するということがわかったので、これ通常の断層の連続を考える安全リレーション、
1:26:02	入ってるわけですので、これらの一連の断層等評価するのが合理的ではないかとこのように判断をして 21 も同様でございます。このような判断をして
1:26:13	一連の一つの断層として今回評価をさせていただいたということな考え方でございます。この点について、少し何かもう少し加え詳しくと言っていますか。詳細に資料化をして説明をすると。
1:26:31	ようなことでよろしいよろしいのかなと考えておりますが、どうでしょうか。
1:26:37	まずは資料にさせていただいてよろしいかとかいうのをここではちょっと答えませんので事業者さんの考え落としとしていただけたらと思います。
1:26:47	はい。
1:26:48	承知しました。このあたり少しもう少し整理して御説明させていただきたいと思っております。
1:26:55	はい。
1:26:56	規制庁の管理についての引き続きちょっと私のほうの資料見てて、ちょっとわかりにくいのだと思うような点でできたらちょっと説明を超えるなりして欲しいところ何点かですね、お願いしたいところがあって、コメントします。
1:27:12	それとですね。
1:27:13	まず 1 点 3738 で、これ前もちらっと聞いたと思うんですけど、
1:27:21	これね属性が乏しい破碎部として、断層にはしなかったものの行為 38 ページで一覧になってるわけなんですけど。
1:27:30	例えばですね、
1:27:34	②イ'断面図とかで起こったことをちゃんとした 48
1:27:40	3 農水の 339 だとかですね、44 だとか 42 だとかこういった
1:27:48	ちょっと細かく見ていたときに、これどうどうしてこういうは繋がらないのかなとかいうのがですね、いまいち、この資料だけ見てもよくわかんなくてですね、これ何か個別に説明するような方ページ。
1:28:04	見てもらえなかった部分を傾斜が違うとか走向が違うとかそういうことを考えられた上でつないでないと思うんですけど、その辺の考え方がちょっとわかるようにして欲しくて、同じく 37 ページの 1 の①①'断面図の

1:28:21	21 棟 24 億関係だとかですね、この図面でぱっと見て、あれっ、これはどうしてあの繋がらなかったのかなってというのが、
1:28:31	あと見てわからないところはしっかりと説明していただきたいんですけど、よろしいですか。
1:28:39	はい、北陸電力のタカダですけども、今大谷さん言われたの 2 件のところについては、確かに断層破碎部がちょっと近接してますので、ここについては別途繋がらないとした根拠についてももう少し図面等で補足して、
1:28:56	添付したいと思います。
1:28:59	はい、御願いますとですね、例えば 8384 ページを開いてもらって、
1:29:06	これらの薄片の 1 テーマ言葉で、
1:29:09	今んですかね、修正断面、
1:29:12	凍上性の関係のその方向で薄片をつくってるんですよっていうふうに細かく書かれてるんですけど、これ
1:29:22	法案の一部を使って半々考え高額ですかね、短期金利のこう作っているのか、効果ないんですけど、その
1:29:31	結局どういうここできてるのかってというのがですね、もう何かイメージを囲っていくと何となくわかるんですけど、ちょっとイメージできるような方向なんか模式図なり何なりをつけてもらうことができないんですか。
1:29:47	はい、電力のタカザワです。模式図もう少し、この書き順に囲っていくと、位置関係がわかるんだと思うんですけども、確かに。
1:29:57	どういうふうに、だからわかりにくいので、何か漫画の模式図ボーリングコアの模式図とかそういうものを使ってみている面がわかるように少し考えたいと思います。
1:30:10	はい。お願いしましたと思う他の事業者さんとかでも模式図使って説明しているのは多いと思いますんで、
1:30:18	わかりやすさの観点で、ぜひお願いします。それで、
1:30:22	担当
1:30:24	ちょっと発想断層の一覧表なんですけど。
1:30:28	例えばその系統区分した一覧表が継続した一覧表であって、
1:30:37	という破碎
1:30:39	断層の全体の何ていうか一覧表っていうのが、
1:30:45	なんかない感じがするんですけど、全体のデータが出てると
1:30:50	系統区分しているのも入ってるし、幅とかも入ってるCとかいうを断層一覧表っていうのをちょっと人目いったら、この断層がどういうのその他とわかるようなですね、要するに、

1:31:04	120728 ページ。
1:31:10	もう
1:31:13	施設とも 1 なんて関係 3 三条なのかどうなのか或いは系統区分で最後どうい う区分をしたのか。
1:31:22	あとは過去の最大最小とかも何かもう、
1:31:28	多分継続のところに入ってたと思うんで、そういったデータが今後何か一目で わかるようなものを作っていただけないかなと思うんですけど、どうでしょうか。
1:31:40	当北陸電力のタカダです一目でわかるというのはちょっと具体的に例えば今 120728 は一目で断等の分布とか、幅関係がわかるんですけども、この中で 系統区分を例えば、
1:31:57	着色。
1:31:58	するとか、そういうイメージなのか。
1:32:02	どうぞ。どうなんですかね。
1:32:04	えっとですね、系統区分で I 1 にしたく程度が道東右けれどがほぼ区分されて るのが、各断層でわかるように、
1:32:16	して欲しいなって思ってるのと、あとこれ施設との関係で、
1:32:21	前は何か
1:32:23	河川聞いてたりしてて、
1:32:26	かったと思うんですけど、そういったものが全部を統合した評価っていうのはで きないんでしょうか。
1:32:38	はい。
1:32:40	はい。例えば募集でこのタカザワですけども、一覧表としては最後のまとめ のほうに 188 と 189 ちょっとこれ、量が多くなりすぎるので分けてるんですね 188289 は今ほどおっしゃってた。
1:32:57	系統区分とカードの断層がどこでおつかとかっていうのが一覧表になってまし て、190 で、そこで評価対象断層が最後どれかと。
1:33:08	いうふうなことがわかるような前にはなっているんですけども。
1:33:14	こういうやつをもっと
1:33:17	言ったまとめるっていうすいません一つ前ですけど、例えば S1 からずっと順番 に見て行って、数ヶ月日程なり系だったかなとかいうのを降格見れるような評 価をお持ちになっていってるかという。
1:33:32	それだけ。
1:33:35	はい、了解しました。
1:33:43	いいですかね、パッとですね。

1:33:46	ちょっとここんですよ、細かい話なんですけど、どっかで食を判定したんだ、残存し主部、
1:33:55	もうパンフ手法をつないだっていう話をここであったと思うんですけど。
1:34:02	北陸電力のタカザワですけども 31 ページのほうに、下の一覧表として支部がどれかということを知るように着色しておっしゃいますけども、その日物件その勧告等を含む以下の施設が主なんだ。
1:34:22	いう主語を判定したって言って単独の主部ってどうしてそれが主になったかっていうのが見たら岡本ルール上は 29 ページのほうのところの断層性の記載についてというのは、
1:34:41	中ほどに書いてありまして、ここにルールですね、分岐収斂する断層については連続性のよいもので同程度のときは、幅が大きいものを主務として評価して、太線とかで記載さというふうな形でルールを書いてありまして 31 ページのほうにそれがどれかということがわかる。
1:35:01	少し着色して示しているという形です。
1:35:07	わかりましたこんな重なる部分カバーを比較して決めているってということですね。わかりました。
1:35:24	ところがですね。
1:35:30	163 ページで、
1:35:34	ちょっと私の担当資料そこまで細かく見てない遅れること 163 ページで、これ。
1:35:42	断面図へんつってというのが書かれてるんだけど、
1:35:48	ボーリングは断面図では全部ほとんど高齢の
1:35:52	断面図でして、結局止めてる。
1:35:57	のバツで書かれてるんですけど、これどうボーリングで止めてるのかっていうのがですね。
1:36:02	ちょっと
1:36:04	このぱつと見て、どっかでわかるんですかね。
1:36:08	北陸電力のタカザワですけども 164 ページのほうに、ここで載ってます。163 ページの低ますボーリングについて、計 4K 合計 20 について御議論してますので、それがどこで止めてるかっていうのは、
1:36:25	賞味見るとか Kakehi 読んであれば次の 1.5-50 校で想定位置に破碎部が認められないとか、
1:36:33	それぞれここで一覧表で対応させるようにしてございます。
1:36:41	ありがとうございます。これ結構深いところの一番、これ。
1:36:48	ことですね。そこで理想的な破碎部が認められないっていうのを断層ごとに表になってってということなんです。

1:36:56	ました。
1:37:02	持ってちゃんと。
1:37:06	あとはですね、
1:37:09	この 163 ページでK-4 とK-ここクロスしてますよね。
1:37:14	これ、クロスしてるんだけど、こっちのK-4 のこっちがK-5 段だっというのをどういうふうに評価したものっていうのが、
1:37:24	ちょっと、
1:37:25	見てとれなくて、その辺のところを見たらわかりますかね。ところがですね。
1:37:32	皆さん北陸電力のタカザワですけども、この調査手順でクロスしたところで、どうやって判断したからなんですけど、ちょっと 164 ページを用いて簡単に説明したいと思いますけども、
1:37:46	まず、K-4 とK-5 それぞれ最初にとらえたのが露頭の位置でございます。
1:37:53	そのところも走向傾斜見ますと、K-4 はN56W85 円のといわゆる高角断層でございます。
1:38:02	一方系のほうにつきましては露頭でN63 度と系内よりも少し西のほうに触れてまして、64 分というふうに客勘計画でございます。
1:38:14	最初に一番近い部分ですね。路頭に一番近い部分でとらえたのは、このK-4 と言いますと、次の 1.9-20 個。これが一番近いところにとらえたものでございます。そこでとらえて最初に出てきた破碎部がK-4 と言うと、N57。
1:38:33	W80NEとで系のほうで同じく同じボーリングでとらえてまして、これはN70W60 L2 ということで、露頭の走向傾斜等、それぞれ 2 隊に多様な走向傾斜が一番されたことでとらえたもので、
1:38:49	ここで品等この線形が決まったということでこれをもとに移行深部方向に連続性を追ったということで、露頭とそれに一番近いボーリングでまず判断してそれから進行方向でつたと。
1:39:04	いう形でA系の 4K-5 の特定してございます。
1:39:09	以上です。
1:39:11	規制庁試す別途今話を聞く中の走向傾斜だけを見ているっていうふうに感じたんですけど、正常に書くとかそういうことで、その通りでいいですかね、正常だとかそういうの水、あんまり黒部ずに、
1:39:27	国交傾斜です。特に傾斜を見て決めていくっていうことで理解しているんですか。
1:39:34	北陸電力のタカザワでございますけども性状についてはどちらもほぼほぼ似たような露頭でも保護法に多様な幅ですし、ほぼほぼ似たような性状でございます。今回実際記載破綻になると 5cm5 センチと。

1:39:49	同じ程度でしたので、ここについては規模感とか性状というのは同程度ですので、そこから辺についてはまず走行傾斜とかが出てくる位置関係を受けたせいというふうに判断してございます。
1:40:05	はい。以上です。
1:40:08	はい。
1:40:10	はい。考え方を聞きましたねと、あと 163 ページでも、ボーリングで見つけた破砕部っていうのはこれ全部落ちていっているんでしょうか。そんなわけではないんですよ、この 163 ページで放映した断面図の中に、
1:40:27	ここに見つけた破砕部以外にもまだあるのかないのか。
1:40:32	名前のついてないです。
1:40:34	北陸電力のタカザワですけれども、我々検討対象としての参戦基準のものっていうのはここにはもうないんですけども、2cmぐらいのちっちゃいものは二つだけ、ここにはありますけども、そこについては隣接校に内のリスクまで連続しないとかろうとまで連続しないので、
1:40:53	他上りにはないということでここには記載してございません。はい。以上です。
1:41:07	はい、確認しましたばかりです確認しましたので、
1:41:11	資料見るようにします。
1:41:14	私の法律
1:41:18	カイダです。今のページ、私もちょっと
1:41:23	何点か確認させていただきたいんですけど、最長のタニあるのと、
1:41:29	あったと思うんですけど、このため、
1:41:33	ボーリングの平面図、
1:41:35	いただければ結構このバツバックがちであったり、
1:41:40	使ったところまで上がったところがあって、実際ボーリングの場所等原因なので重なっていないので、
1:41:50	いや、考え方のこの次のページ、164 ページとセットで
1:41:56	本資料作る時も減っていただけようお願いします。なかなか上にも似たような、こういった使って、そっちも確かセットになったんですね、比べればわかるんですけど。
1:42:08	これ単体でなされると思ったので、そこはお願いしたいと思います。
1:42:14	あと一つ確認なんですけども、英語に今はクロスするかどうかは別として、
1:42:26	次のページの
1:42:29	業務はK-4 か。
1:42:33	今後、

1:42:37	80 認められないって書いてるこのバツが前のページのバツ印でいうところで議論し、
1:42:49	はい北陸電力の高田ですけど。はい、それでよろしいです。
1:42:55	わかりました。
1:42:58	この傾向はどっかのページで見ると、復水炉には出てきてないみたいなことが書いてあったんですけども、
1:43:07	今後そういった情報は含めて、
1:43:11	何か評価制度されてるので。
1:43:15	あくまでボーリングで見つかった。
1:43:18	このため、引き続きボーリングだけのためというふうに思う。
1:43:23	受け付けないとか、
1:43:25	はい、北陸電力のタカダですけども、海田さんがおっしゃってた内というのは多分取水のスケッチの昔のスケッチですので、それについては我々今回強化するにあたって取水塔スケッチはあくまでも建設時のもので、
1:43:45	制度がやはり現在の共済は劣るということで、今回、これだけ群列ボーリングをして調査をしてございます。
1:43:54	ですので、基本的には取水がスケッチではないんですけども、経営の傾向というのは個別した破碎部ということで、我々としては顕在化させないものだったりもしますので、今回はあくまでもボーリングで直接とらえたデータの方が正しいと。
1:44:13	いうふうな判断をしまして、ボーリングのほうで出席の深度付近にあるということで、これについては被水炉心どうされるんとする断層という形で評価したということでございます。
1:44:26	以上です。
1:44:28	はい、じゃあ、
1:44:30	一応 4 件は、次を。
1:44:33	今出てきて、
1:44:37	昔のデータを置いて、今回の定款でそういうふうな
1:44:44	そういうことで進めました。
1:44:47	ほかに多様なちょっと全部この資料を詳しくみ切れてないと思うんですけど、計 4 敬語以外も、そういった位置付けで
1:44:57	その辺の特性っていうのは評価されているということで、
1:45:01	よろしいですか。他にもあるんですか。
1:45:05	そうですね取水のスケッチにはあくまでも内とかワーク例目が割れ目しかないとかあるんですけども、あくまでもボーリングでとらえたものにつきましては今

	回すべて主水路なボーリングで取水の頻度まで連続するものにつきましては、
1:45:24	あの姿勢を接地面に分布するという形で評価しているという形でございます。
1:45:30	はい。以上です。
1:45:33	はい、カイダです。わかりました。先ほどの前に、
1:45:38	話があって、一応そういったバランスなんてことは、
1:45:44	はい。
1:45:47	あともう1点、その各63ページ。
1:45:50	確認なんですけど、これは私の方まで残ってないんですけど、県に12ページの
1:46:00	次に、1万164ページの評価で、
1:46:04	22の確認が同じくボーリング坑でなんかいっぱいあるんですけど、たとえば前のページの断面図見ると、
1:46:15	22、
1:46:17	あのボーリング坑って1ヶ所しか終わっていないように、
1:46:22	メールたくさんなんで。
1:46:25	ただ、
1:46:29	北陸電力のタカザワですけども、164ページ見ていただきますと、懇たくさん入るのが81.5メートルから83.23メートルのまた大体1メートル50センチぐらいの間で固まってくる分布してまして。
1:46:46	同じような走向傾斜ですので、断層が、やはり主義とか先ほど分岐部の話ありましたが、幾つか多分所々分かれたり、また一方になったりしてますので、これらについては、一連のものとして、評価していると。
1:47:04	ということで、0断面図に落とす際には、ここで※2という形で10cmのところは打ってありますけども、代表として煩雑になりますので、一番大きなものについて、まるで163ページのほうで落とすという形でございます。
1:47:26	はい。資料あります。これもまた二体バッファにも、
1:47:32	あるということで、
1:47:35	同じようなスタンスで資料がつくられている。
1:47:40	はい。
1:47:41	いや、
1:47:44	北陸電力の高田ですけども、この
1:47:48	書き方ですね163のような書き方っていうのは、106色っていう3ページ。
1:47:54	あとは最初のほうに出てきますも同じような図面のところの127ページですか。
1:48:03	27ページが同じような図面が出てきてまして、

1:48:09	それ以外については、基本的には支部と分岐部についてそれぞれ太線等の母線で表記しておりますので、すべての断層は基本的には線で書くように正しい図面には書くようにしてこういう模式図的な図面にはちょっと煩雑になりますので、
1:48:26	その分布がわかるようにこういうピックアップして書いているという状況でござい。
1:48:35	はい、わかりました。私から。
1:48:43	施設の管理ですので遠く引き続きちょっと細かい話ですが、薄片のところを確認さしてください。102 ページですか。
1:48:54	これは 102 ページで断層センスを
1:48:58	見るのに今年の方角っていうのをですね、できてきたか。
1:49:04	それから、
1:49:07	合併の方角というのを見てるわけなんですけど、これって、これまでもこういう評価ってされてました。
1:49:17	北陸電力のスモリです。こちらはいわゆる頑健の長軸方向で閉弁する特定している判読しておりますけども、これまでも前回の会合でお示した運動方向についても断片ですが鉋物へん後駅粘土鉋物の
1:49:33	結構入ってですね、これらのところから運動方向を判読してございます。以上です。
1:49:39	はい。
1:49:40	規制庁檣です。がん瓶の方角だけで判断しているところであるんですか。
1:49:55	電力スモリです。
1:49:58	この場所はですねまた基本的なとこ 102 ページについてはですね、学的なとか示してるんですけどもこの矢印というのはがんペンも常時高校ですけども、上の記載のところに合併が貢献の国ということで、
1:50:13	一番下キャンペーンのみから変形と特定しているところのどこでもあったかなというふうに
1:50:20	思います以上です。
1:50:25	ところすみません 102 ページは、下部編しか工程なんですP面は見つけないものは何ですかっていうのを当方からこれを見て、なんでここも合併だけさしてるのか、ほかにもなんかちょっと違う方向向いた合併
1:50:43	が、僕が見る限り、ちょっとありそうだなっていうのもあってこういう確認をするんですけども、なぜ勘弁をこただけを選んでるんですか。

1:50:54	北陸電力のタカザワですけれども、102 ページの左の単ニコルの薄片見ていただくとわかるんですけども、この粘土状破碎部の中に含まれる観点TYBB 位置から離れますと、いろんな方向に向いているということで、
1:51:11	このY面のほうに近づくと、このような定向配列しているように見えるということで、最新活動面というかわゆる活動に近いところですので、ここについて定向配列があるのではないかとということで、より近づいたところに活動まで近づいたところに見えるので、
1:51:31	この関連についてピックアップしてそれが引き続いて協議というのではないかとというふうな形で記載してございます。
1:51:42	規制庁試す事実関係を確認してきましたけど、これ粘土の部分で見れないっていうことでいいですか。もう1回ちょっとそこだけ確認させていただきます。
1:51:55	年度ところが少しこ少しがん瓶が多いところで、年度がちょっとやっぱり少ないと粘土があまり進んでないというものもありまして、ここについては明瞭に見えるのが断片でしたので、
1:52:11	キャンペーンについて記載してございますけども、
1:52:14	年度についてももう一度見えないかという観点でも少し検討は進めたいと思います。
1:52:23	規制庁ためです。この伸縮見るとこの二つ、二つ合併に矢印をつけてるだけで抵抗解説っていうのはちょっとわかりにくい掴む言いたいことを横からわからないういう
1:52:37	の感じてますので、
1:52:39	はい、説明できるんだったら、
1:52:41	説明加えていただけたらと思います。
1:52:46	あと引き続きですね。
1:52:49	ちょっと酷すごく細かい話なんですけど、94 ページの
1:52:54	直交ニコルで何か。
1:52:56	左側がそこに水黄緑っぽいこう何か。
1:53:00	年度なんですかね、これは何かとわかります。
1:53:05	もやとした緑色の
1:53:08	北陸電力のタカザワですけれども、これ多分あのスメクタイト系で設置分とか、多いのかな。ちょっと分析はしないんでわからないんですけども、敷地で例えばスメクタイト系でもう少し褐色系とか、
1:53:24	若干緑系というふうな形で、その生まれるその他の鉱物のその含有によって少し配慮が変化しているんですけども、基本的にはこれ多分スメクタイト系の名粘土鉱物だというふうな形で考えてございます。

1:53:47	はい。事実関係を確認しました。
1:53:51	はい。
1:54:02	ぜひ、
1:54:08	はい。
1:54:09	はい。
1:54:15	規制庁の設定のスガヤです。すいませんあの冒頭ですね、
1:54:20	昔のことについて簡単に説明して下さったんですけど、データ集 1 ボーリング柱状図が今回あるんですけど。
1:54:30	敷地の浅いところあるんでもう 1 回さ。
1:54:34	目指しております資料について説明。
1:54:39	お願いします。
1:54:45	北陸電力の石原です。そしたらボーリング柱状図の中の 1-11 ページをお願いしたいんですけども。
1:54:58	今回今ほど御説明してきましたけれども、K2 の分岐部ですとか、計 16 の分岐部というものを今回 K-22 件 23 として抽出してございます。また今議論になってましたけれども、破碎部にですとか破碎部 4 を
1:55:15	今回我々は K-20K-21 の一部としたことで、我々柱状図の破碎部欄に対応する断層面を追記してございますので、今回この京阪 20 から K-23 について、断層名を追記したものを紫色で表記した。
1:55:33	主蒸気について追記して今回再掲出してございます。
1:55:37	赤色で表示したものは、破碎帯の連続性追加ボーリングということで、この辺りのほうに関しましては完全について新規のボーリング坑の柱状図ということにございます。
1:55:50	この 10-1-11 以外にも 10-1-10 ページですとかそういうものに関して紫色で表示したものにつきましては、同様に断層面を追記をしまして、再提出してございます。以上です。
1:56:07	こちら、
1:56:09	追加したっていう、もともとこここういうぜひ模索していると思って。
1:56:16	ここが計算されてるそうです。
1:56:20	わかりましたページのスガヤです。はい、ありがとうございました。すいません。
1:56:30	褶曲軸けれども、
1:56:33	確認をしたいんですけども、
1:56:35	取水口の断面図のところに、
1:56:40	経営恩恵があつたりなかったり、

1:56:46	うんだけれども。
1:56:49	例えば 32 ページだと。
1:56:52	これ地質断面図のカラー刷りの断層角んだと思うんだけど、入ってなかったところ、
1:56:58	ここはどういうふうに書かれてるんですか。
1:57:02	北陸電力のタカザワでございますけども、地質断面図とかにつきましてはあくまでも調査した断面でしかをかけないということで、3、29 ページに平面図、示しておりますけども、
1:57:18	あくまでも、今回調査した連絡道路沿いで切った断面①、①' 断面とあと連絡道路沿いから海の方に延ばしたボーリングの②②' 断面ということで、
1:57:33	あくまでも調査断面で記載してございますので、ここには計 4K5 というのは連続してきてございませんので、ここには記載していないという形でございます。はい。以上です。
1:57:52	結局これ 33 ページを何とかK4。
1:57:58	ここが断面図なんですけど、MRAマルA' 断面の主水路駄目ですよ。
1:58:05	もう 4 号館の
1:58:08	景観法の扱い方トップ
1:58:11	もうお金もそうなのかもしれないけど、
1:58:14	どの断面で見れば、
1:58:16	当断層の
1:58:19	どんが
1:58:20	きちんと全部乗っかってるのかっていうのは特養わからないんですけど。
1:58:24	はい。
1:58:25	北陸電力のタカザワですけども、全部見ればわかるのが全部の調査結果を求めました 42 ページのほうでして、これが海岸部に認められる断層の分布で左側に平面図、
1:58:44	右側に断面ということで、①、②に加えましてここでは、この取水量で切った③③' 断面で計 4 敬語も見える形にしております。ちょっと先ほどのナイトウさん言われました 33 ページはあくまでもCOCO申し訳ないんですけども、取水炉
1:59:02	調査でやったやつを投与したときに、どう見えるかという検討できたので、ここには経営の基本とはK-用は期待せずにまとめのほうのところできっかりと記載したという形でございます。
1:59:58	はい。
2:00:00	本

2:00:01	はい。
2:00:01	また別途、
2:00:03	きちっとナイトウですけれども、最後に見せる。
2:00:08	ペネ必要だと考えて、今皆さんの関係で、今のやつだけど、送付を取水ができる断面で何がどこにどうだとどこに
2:00:25	向こうしますかっていうのが必要になるんですけれども、それを今 33 ページしかないですかね、33 ページはK4 号館ない。
2:00:36	今あるのがこれでタカザワれてあるのが 34 ページのほうには浮腫制度スケッチ等の対応をさせていただきますので、これについては 34 ページのほうには計 4 K5 も含めまして、
2:00:52	どれが取水炉との関係、どこにあるのかというのがわかるように 34 と 35 ページのほうで、市水道のほうに投影したものについては、添付しているという形でございます。
2:01:10	ですね、そこをちょっと
2:01:14	きちっと図面上、整理をしてもらえませんか。あたりなかつたりするので。
2:01:20	ほかの断層も、
2:01:21	チェックをしてないんですけども、
2:01:25	いや、取水の断面位置で六本木どの断層があるという評価結果になったのかっていう結果の
2:01:34	結果は 1 億 6 でわかるものっていうのはきちっとつけてもらいたいですけど。
2:01:39	はい、それとあと検討過程でもってないことなども変わってないのかって話になってそのの整合をきちんとやってもらいたいです。
2:01:48	はい、北陸電力のタカザワですけれども、取水の断面でしっかり落としたものについても、今ほどの 42 ページとあわせまして、給水量に落としたときにどうなるかという形については、添付したいと思いますし、
2:02:04	検討断面についても検討の途中でそれをもしなかった理由がわかるようなことっていうのは、文書でしっかり書いて説明したいと思います。以上です。
2:02:33	そうです。
2:02:52	全然、
2:03:10	はい。
2:03:12	ごめんなさい、あと、規制庁の石川とわかりやすさの観点でいうと、陸域の立案もからも、陸域ですし、含めて掲出含めて、評価対象断層、
2:03:27	重要施設の関係。
2:03:34	ようわかる詰めていきます。

2:03:38	北陸電力の高浜間ですけども、費用今 3 章のほうで重要施設の位置関係ということで 130 ページ。
2:03:50	に記載してございますけども、ここで陸域も含めて、重要施設にある断層がどれで内断層はどれかということでは断層については、赤で着色して示していると。
2:04:06	いう形でございます。
2:04:10	僕電力のハマダですけども、今の平面ですと先ほどからちょっと議論になってます断面を見たときの情報もこのページですと、一部伝わり切れないものがありますので、今の御指摘踏まえまして、ちょっとだめも含めてわかりやすい形に修正させていただきたいと思います。補足です。
2:04:36	テスト前ですけども、
2:04:38	130 は敷地内議論
2:04:51	はい、北陸電力タカザワですけども、敷地内で認められた、先ほど議論になった 33 本の断層についての扱いを記載してございます。
2:05:04	じゃなくてですね。
2:05:06	皆さんは国会で評価を耐震評価対象断層が何本かそういう値はここですっていうのを、
2:05:17	世界はずなんだけど、それがわかる図面がどこにもない結果、それが 190 ページの一番最後の結論のまとめのところ、
2:05:31	陸域も含めまして左側に平面図で右側に断面図を示しまして、ここで赤色で示したものが評価対象断層ということでわかるように記載してございます。はい。以上です。190 ページ
2:05:47	ね、ここにもお願いしたい。
2:05:51	はい。
2:05:56	。
2:06:03	これはオープンになるのか。
2:06:06	マスキング対象じゃないんですよ。
2:06:08	190 ページはマスキング対象ではないです。はい。
2:06:14	外とかで見ると、
2:06:17	評価施設と、
2:06:19	発電所の
2:06:21	中のどの断層が評価対象になったのかっていうのを持ってっていうしてもらいたいと思ってる場所は 190 ページは使えるところですね。
2:06:32	はい、北陸電力のタカダですね、これについては公開しても問題ないです。はい。

2:06:38	北陸連絡フジタンですけども、この 190 ページは重要施設との関係が若干わかりにくい部分もありますんで。
2:06:47	等重要施設を仕立てていくとか何か区分して表現した整理したいと思います。
2:06:55	引間ですけど、すべて多分重要施設入れちゃうとスキームになっちゃうんじゃない。
2:07:03	断層名だけに、
2:07:07	わかるようにした線を引くとか、
2:07:10	三条対象については、
2:07:14	紛失することは可能かなと思ってます。
2:07:22	まあわかるんだけどね、S&計算だけが非常に難しい。
2:07:27	あとは別。
2:07:30	それからですアドレス
2:07:36	S1 と計算だけです。
2:07:39	わけだよね。
2:07:41	あとは皆さん状態になってね。
2:07:44	そうです。
2:08:10	はい。
2:08:23	すみません、計算上ですけども、これ。
2:08:27	名蒸気 98 がわかりづらいの点線で引くとか何かできません。
2:08:35	北陸電力のタカザワですけども、PARの想定ということで、点線で引くことは平面図にも可能でございます。
2:08:48	はい、ちょっと
2:08:50	一方、
2:08:52	外から見外の人が見たときに、
2:08:55	わかりやすいということをネットにちょっと平面図上で付してもらえると助かるんです。
2:09:04	はい、北陸電力のタカザワですけども、それそうしましたらKの 18 と 19 に決定にいずれも今回の平面図のほうには地表まで連続しないことから記載してないんですけども点線で記載するなどしてどの短総額の位置にあるかということがわかるように、少し工夫して示したいと思います。
2:09:26	はい、規制庁お願い。
2:09:29	株外に懸念してる中 1 枚だけそういうあればいいと思って、逆に地域平面図に我々が議論するときに、当事象に出てないやつ買ってきちゃうとまた混乱するのでその辺はちょっと区別して、
2:09:48	作っていただければと思います。

2:09:50	はい、北陸電力のタカダですけれどもまとめのページのみ、そのような形で少しそういう主旨がわかるように記載して示したいと思います。
2:10:01	規制庁の中で、よろしくをお願いします。
2:10:10	規制庁関連する主予定時間を過ぎてますんで、頂部断層も連続性の考え、
2:10:18	ここですね
2:10:20	資料に落とすという事実があるという認識なんですけど、これが社章準備れたらまたヒアリングっていうことで進めていきたいと思いますが、今もしどれぐらいの一定の成果なのか。
2:10:35	ほかにたら聞きますけど。
2:10:41	北陸電力フジタです。今回薄片の観察等も含めましてぎみ再観察組み合わせに2週間程度で、
2:10:50	検討を進めたいと思いますが、
2:10:54	それから資料を提出っていう形で、
2:10:59	また準備会ましたら、できるだけ早い連絡いただけたらと思います。あと事業者さんから特になければ終わりたいと思いますが、どっちですか。
2:11:11	ヒアリングとしては特に
2:11:14	私からは確認事項がない。
2:11:22	はい。それではですね今日もヒアリングを終わりたいと思います。お疲れ様でした。